

石狩川流域委員会（第19回） 議事要旨

■日 時：令和6年10月16日（水曜）13：00～13：50

■場 所：北海道バス研修センター第3研修室（対面＋WEB 会議システムによる併用開催）

■出席者：黒木委員長、中村副委員長、上田委員、岡田委員、片石委員、
定池委員（WEB 参加）、山田委員（以上7名）

■議題

- （1）豊平川河川整備計画（案）について、その他
- （2）今後の予定

■議事要旨

- （1）豊平川河川整備計画（案）について、その他

・住民説明会は全て対面で行われているが、今後、オンラインとの併用を検討しているか。
あるいは、オンラインで行った場合の不都合についてどのように考えているのか。（委員）

→オンラインとの併用は現在検討しており、例えばアンケートをオンラインで回答してもらうような取り組みを始めたところ。今後、オンラインのメリット・デメリットを検討し、相談しながら進めていきたい。（事務局）

・資料－2の11ページのご意見10に関連して、能登半島地震のような地震が札幌で発生した場合、道路や河川堤防が救助や避難の為に役割を果たせるか検討されているか。（委員）

→豊平川の周辺には緊急輸送道路がネットワークを成しており、豊平川左岸の河川敷は第3次緊急輸送道路として整備されている。しかし、地震時にどの道路が使えるか事前に評価するのは難しいため、リダンダンシーが確保されている中で実際発災が起きた時に、どうオペレーションをしていけるかといったことを事前にシミュレーションしてみるといったところが、現状では大事だと考えている。昨今の北海道における道路啓開の取り組み状況については、調べさせていただきたい。（事務局）

・資料－2の11ページのご意見10に関連して、地下鉄トンネルの地震時の挙動について何か考慮されているか。また、地下鉄周辺の堤防自体も弱部になるか。（委員）

→地下鉄トンネルの地震時の挙動については、札幌市に問い合わせたい。また、その結果を踏まえ、地下鉄トンネルの地震時の挙動による周辺堤防への影響について確認したい。（事務局）

- ・資料－２の１１ページのご意見１０に関連して、開発局の行う災害対応を、開発局単独の対応と札幌市への支援とを区分けして書いた方がよいのではないか。（委員）

→TEC-FORCE の派遣等は札幌市への支援となる。変更原案に既に自治体支援が位置付けられているため原案の変更はしないが、ご意見１０の回答を修正させていただく。（事務局）

- ・資料－２の６ページのご意見１，２に関連して、河川環境の具体的な数値目標とは、具体的にどのようなものなのか。（委員）

- ・河川環境の具体的な数値目標については、事前の議論である今年５月の「生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方検討会」の説明が必要だと思う。（委員）

→別途ご説明の場を設けさせていただく。（事務局）

- ・豊平川流域の住民の方々が非常に好意的、あるいは高く評価していることが判った。ただ、そうした住民の方々にも、全国各地で起きているような大災害が豊平川で起きたときの様々な対応を知らせることも非常に重要だと思う。（委員）

→ご意見として賜った。（事務局）

- ・以上の審議により、石狩川水系豊平川河川整備計画[変更]（案）についてご了承いただけるか。（委員）

（異議無し）

（２）今後の予定

- ・本委員会のご意見等を踏まえて、所要の手続きを進めさせていただく。計画変更後は、本計画に基づき、気候変動を踏まえた洪水調節機能の増強について調査検討等を進めさせていただきたい。また、現在同じく気候変動を踏まえた河川整備基本方針の見直しに向けた検討を進めており、これら検討の結果を踏まえて、整備計画の変更について、改めて流域委員会に諮り審議をお願いしたい。（事務局）

- ・今回の石狩川流域委員会において豊平川河川整備計画の変更（案）を策定することができた。変更に向け所定の手続きを進めていただきたい。（委員）

以上